

投資事業評価調書 (新規)

課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 西垣 嘉夫 (土居 康成)	内線	4 3 8 9 (4 3 9 9)
-----	-------	---------------------	-------------------------	----	------------------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約 7 億円
		特定交通安全施設等 整備事業 (国) 176号	篠山市大山		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
篠山市大山				平成 13 年度	平成 20 年度
事業目的			事業内容		
交通安全対策 ・交通量の多い当該道路に自歩道を整備し、歩車分離を図り、交通安全対策を推進する。			自転車歩行者道整備 L = 2,600m W = 3.0(4.0)m		
評価視点					
(1)必要性 快適性・ゆとり		<ul style="list-style-type: none"> ・自動車交通量が多い。 (自動車 12,259 台/日、歩行者 116 人/日、自転車 95 台/日) ・児童・園児の交通量 (91 人/日) ・過去 5 年間の歩行者・自転車の交通事故件数 (4 件) ・死傷事故率 (146 人 / 億台 km) ・大山小学校 (約 200m) が立地。 ・自治会要望箇所。 ・大山小学校、丹南中学校の通学路に指定されている。 ・幅広歩道の整備及び連続性確保。 ・前後の整備状況・・・三田側整備済み。 ・植樹帯の設置。 			
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・地元からの事業化に対して要望あり。 			
(2)有効性・効率性 有効性		<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車の安全が確保され、投資効果が期待できる。 ・自歩道の整備に併せて交差点改良を実施することが可能。 			
効率性		<ul style="list-style-type: none"> ・円滑な用地取得に向けて、篠山市と用地取得体制に関する協議済み。 			
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> ・植樹帯の採用 			
(4)優先性		<p>当該箇所は、周辺に大山小学校が立地し、自動車交通量が多い。その上、事故多発地点緊急対策箇所に位置づけられていることや大山小学校や丹南中学校の通学路にも指定されている。このため、早急に自転車歩行者道の整備を行う必要がある。</p>			
評価 の結果	着手妥当	左 の 理 由	審査の結果、事業着手が妥当と認められた。		